

## 令和6年度 第3回学校運営協議会 議事録

実施日時	令和7年3月5日(水) 14:00~15:00
議事 質問 意見 要望 回答等	<p>(1) 校長挨拶 3月1日に麻生市民館にて第46回卒業式を行った。 3年間ICT利活用授業研究推進校として、ICT機器を用いて「探究する力」「自ら学びを調整する力」「協働する力」を育んできた。来年度以降も同様に取り組んでいく。また生成AIの授業での活用法についても研究を継続し。これらが生徒の学力向上につながるようにしていく。 サポートドックというアンケートを実施し、生徒の悩みや困りごとを聞き取り、生徒支援を行った。 校則の見直しを行った。現在は試行期間として、生徒は新しい校則に則って生活をしている。 アプリケーション等を有効的に活用し、教職員の業務の効率化に努めている。</p> <p>(2) 令和6年度の本校の取り組みについて          ①教務グループ DXハイスクールの取り組みによって変更されるカリキュラムを検討していく必要がある。          ②研究・ICTグループ 「探究する力」「自ら学びを調整する力」「協働する力」を3年間の指定事業を通じて学校全体で育んできた。来年度も継続をして取り組んでいく。          ③活動支援グループ 体育祭、球技大会をとどろきアリーナで実施。コロナ禍で縮小したものをコロナ流行以前の形式に戻せるように活動を行った。 部活動の加入率の低さが課題。新たに入学する生徒へ部活動への加入を促し、学校全体を盛り上げたい。 体育館の改修工事による課題があるが、生徒と共に課題を解決し、活動が縮小することのないようにしていく。          ④生活指導グループ 服装指導、頭髪指導は定着してきている。遅刻の数が改善されていないため、同様に力を入れて指導していく。 生活指導グループが中心となり学校全体で校則を見直した。現在は試行期間で生徒の様子を見ている。生徒全体が校則に則って生活ができるよう来年度から校則として施行する。 教育相談にも力を注いだ。スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラーにも協力いただき、生徒の不安を取り除けるよう努めた。 学校近隣で自転車の交通事故が発生している。自転車の乗り方やマナーについてさらに指導をしていく必要がある。          ⑤進路指導グループ 4年制大学への進学が多く、その中でも受験方法として学校推薦型選抜（指定校）が最も多い。本校では近年、大学入試が年内での受験の枠が増加傾向であることを鑑みて総合型選抜の受験指導に力を入れた。実際に本校では総合型選抜で受験をする生徒が増えた。          ⑥連携・広報グループ 高校と大学の連携事業の一環で、専修大学に本校1学年生徒への体験プログラムを用意していただいた。また、耕形中学校との連携事業として、今年度は本校の公開研究授業に足を運んでいただき、授業の見学と意見交換を行った。 広報活動では本校の特徴であるICTやDXハイスクールの説明に力を入れ、受験を考えている中学生や保護者に本校の魅力を伝えることができた。          ⑦総務グループ 防災教育に力を入れた。地域や消防と連携をとり、OXを実施し防災の意識を学校全体で高めた。個人情報の保護など事故防止にも努めた。</p> <p>(3) 質疑応答          ・アクセサリー以外に変えた校則は何か。          →セーターの指定色の廃止や防寒着の種類の明確化。          ・今年度の入試では中学生の受験者数はどのようであったか。          →受験者数は330名程度であった。          ・マチコミとはどのようなものか。          →保護者等への情報発信のためのアプリケーション。入学時に保護者に登録をお願いしている。          ・耕形中学校との防災教育はどの程度行っているか。          →年に1回、必ず行っている。</p>